

川上澄生の いきもの図鑑展

令和2年

7月4日(土) ▶ 9月27日(日)

鹿沼市立川上澄生美術館
Art Museum of Kawakami Sumio

* 寸法は画面寸法で縦×横(cm)の順に示した。ただし、書籍等、画面寸法が計測できないものについては紙面寸法で示した。
* 本展の出品物は、すべて川上澄生美術館の所蔵作品・資料である。

第1章 身近な動物・植物

No.	作者名	作品名	制作年	技法・形状	寸法(cm)	備考
1	川上澄生	《自画像》	1933(昭和8)年	木版墨刷、紙	15.4×15.0	
2	川上澄生	《かまきり》	1930(昭和5)年	木版多色刷、紙	15.3×10.6	『さくづ』10号(1930年)には《蠅螂と胡瓜》、 『版芸術』第3号(1932年)には《かまきり》と記載
3	川上澄生	《子供・草花・蝶》	1935(昭和10)年	木版墨刷、手彩色、紙	18.3×22.2	第4回 日本版画協会展(1935年)
4	川上澄生	《ランプと蛾》	1933(昭和8)年	木版墨刷、手彩色、紙	12.5×16.5	『版芸術』第17号(1933年)に《豆洋燈と蛾》と記載
5	川上澄生	《馬車》	年代不詳	木版墨刷、紙	13.2×15.3	
6	川上澄生	《観兵式》	1929(昭和4)年	木版多色刷、紙	18.1×24.0	「新東京百景」(1929年)、創作版画倶楽部 限定50部
7	川上澄生	《伊太利亜大曲馬チャリネ》	1963(昭和38)年	木版墨刷、手彩色、紙	26.0×19.3	
8	川上澄生	《小鳥とみかん》	年代不詳	木版多色刷、紙	8.0×12.8	
9	川上澄生	《ソウのいる風景》	年代不詳	木版墨刷、紙	9.5×13.8	
10	川上澄生	《ラクダのいる風景》	年代不詳	木版墨刷、紙	9.2×13.5	
11	川上澄生	《ランプと猫》	年代不詳	木版多色刷、赤紙	26.3×19.7	
12	川上澄生	《人力車に乗る猫》	1952(昭和27)年頃	木版墨刷、紙	12.1×8.8	『少年少女』(1952年)の秩紙に手彩色のものを使用
13	川上澄生	『ミイミタマチャン』	1952(昭和27)年	折畳本	20.1×14.0	私刊
14	萩原朔太郎 著 川上澄生 装幀	『猫町』	1935(昭和10)年	書籍	19.4×15.1	版画荘 刊
15	川上澄生	《猫の町》	1935(昭和10)年	木版墨刷、紙	6.5×8.7	『白と黒』再刊第4号(1935年)所収、『刀』再版第1号 (1940年)には《猫の街》と記載
16	川上澄生	《はなばたけ》	1927(昭和2)年頃	木版墨刷、紙	8.4×12.1	『港』第5号(1927年)所収
17	川上澄生	《今日は》	1929(昭和4)年	木版多色刷、紙	6.0×7.5	『村の版画』第10号(1929年)所収
18	川上澄生	《花》	年代不詳	木版多色刷、紙	10.4×8.0	
19	川上澄生	《桜》	年代不詳	木版多色刷、紙	5.1×9.4	
20	川上澄生	《あざみ》	1928(昭和3)年	木版多色刷、紙	16.4×12.2	
21	川上澄生	《花》	1927(昭和2)年頃	木版墨刷、手彩色、紙	10.5×7.9	
22	川上澄生	《ランプ・楽器・カーネーション》	1927(昭和2)年	木版多色刷、紙	21.4×29.7	
23	川上澄生	《カーネーション》	1932(昭和7)年	木版多色刷、紙	16.4×12.2	
24	川上澄生	《りんどう》	年代不詳	木版墨刷、手彩色、紙	19.6×27.9	
25	川上澄生	《かんぴょうの花》	1964(昭和39)年	木版墨刷、紙	7.5×10.5	朝日新聞「新人国記」挿画
26	川上澄生	《枯れたひまわり》	1923(大正12)	木版墨刷、紙	20.0×15.7	第5回 日本創作版画協会展(1923年)
27	川上澄生	《おもちゃ南瓜という小さい南瓜》	1953(昭和28)年頃	木版墨刷、手彩色、紙	25.4×33.2	
28	川上澄生	《仙人掌》	年代不詳	木版墨刷、紙	9.5×13.5	
29	川上澄生	《菊》	1928(昭和3)年	木版多色刷、紙	18.2×9.5	『刀』第参輯(1928年)所収
30	川上澄生	《燈下椿花之図》	1928(昭和3)年	木版多色刷、黄艶紙	14.0×14.5	

第2章 物語のなかのいきもの—『イソップものがたり』より—

No.	作者名	作品名	制作年	技法・形状	寸法(cm)	備考
31	川上澄生	《クマとシシとキツネ》	制作年不詳	木版墨刷、手彩色、紙	20.4×14.6	『川上澄生自摺版画イソップものがたり』(1976年)所収
32	川上澄生	《オジカの角と脚》	制作年不詳	木版墨刷、手彩色、紙	20.4×14.6	『川上澄生自摺版画イソップものがたり』(1976年)所収
33	川上澄生	《町ネズミといなかネズミ》	制作年不詳	木版墨刷、手彩色、紙	20.4×14.6	『川上澄生自摺版画イソップものがたり』(1976年)所収
34	川上澄生	《クマとふたりの友だち》	制作年不詳	木版墨刷、手彩色、紙	20.4×14.6	『川上澄生自摺版画イソップものがたり』(1976年)所収
35	川上澄生	《ネコとネズミとオンドリ》	制作年不詳	木版墨刷、手彩色、紙	20.4×14.6	『川上澄生自摺版画イソップものがたり』(1976年)所収
36	川上澄生	《コウモリ》	制作年不詳	木版墨刷、手彩色、紙	20.4×14.6	『川上澄生自摺版画イソップものがたり』(1976年)所収
37	川上澄生	《ニヒキのヤギ》	制作年不詳	木版墨刷、手彩色、紙	20.4×14.6	『川上澄生自摺版画イソップものがたり』(1976年)所収
38	川上澄生	《ハエとアリ》	制作年不詳	木版墨刷、手彩色、紙	20.4×14.6	『川上澄生自摺版画イソップものがたり』(1976年)所収
39	川上澄生	《ウサギとカメ》	制作年不詳	木版墨刷、手彩色、紙	24.3×16.8	『川上澄生自摺版画イソップものがたり』(1976年)所収
40	川上澄生	《イヌと影》	制作年不詳	木版墨刷、手彩色、紙	20.4×14.6	『川上澄生自摺版画イソップものがたり』(1976年)所収
41	川上澄生	《犬とその影》	1945(昭和20)年頃	木版墨刷、手彩色、折畳本	23.8×17.4	
42	川上澄生	《アリとコオロギ》	制作年不詳	木版墨刷、手彩色、紙	20.4×14.6	『川上澄生自摺版画イソップものがたり』(1976年)所収
43	川上澄生	《蠶斯と蟻》	1933(昭和8)年頃	木版墨刷、手彩色、紙	18.2×11.7	『版芸術』第17号掲載
44	川上澄生	《蟬と蟻》	1945(昭和20)年頃	木版墨刷、手彩色、折畳本	23.1×17.3	
45	川上澄生	『伊曾保繪物語 天』	1931(昭和6)年頃	木版墨刷、手彩色、紙	12.8×18.6	未刊
46	川上澄生	《水がめとカラス》	制作年不詳	木版墨刷、手彩色、紙	20.4×14.6	『川上澄生自摺版画イソップものがたり』(1976年)所収
47	川上澄生	《鳥と水さし》	1931(昭和6)年頃	木版多色刷、紙	10.7×15.0	『伊曾保繪物語 天』(1931年)挿画
48	川上澄生	《大山鳴動して鼠一匹(A)》	1933(昭和8)年	木版墨刷、手彩色、紙	10.5×13.8	『版芸術』第17号(1933年)所収、 『白と黒』第3次第1年5号(1937年)には 《泰山鳴動鼠一匹(1)》と記載
49	川上澄生	《大山鳴動して鼠一匹(B)》	1933(昭和8)年	木版墨刷、手彩色、紙	10.5×14.0	『版芸術』第17号(1933年)所収、 『白と黒』第3次第1年5号(1937年)には 《泰山鳴動鼠一匹(2)》と記載
50	川上澄生	《おしゃれ鳥》	昭和初期	木版墨刷、手彩色、紙	18.1×11.5	『版芸術』第17号(1933年)

第3章 伝説・空想のなかのいきもの

No.	作者名	作品名	制作年	技法・形状	寸法	備考
51	川上澄生	《一角獣と一角魚》	1965(昭和40)年	木版単色刷、手彩色、黒艶紙	13.0×12.5	『南蛮諸国 上』所収
52	川上澄生	《海馬図》	1954(昭和29)年	木版墨刷、手彩色、紙	8.9×12.1	平成21年度 大出和成氏寄贈
53	川上澄生	《マーメイド》	年代不詳	油彩、ガラス	直径4.9	陶額は自作
54	川上澄生	《洋燈と悪魔》	1957(昭和32)年頃	木版多色刷、黒艶紙	32.7×19.0	
55	川上澄生	《エンゼル》	年代不詳	油彩、ガラス	7.3×8.9	
56	川上澄生	《かみなりさま》	年代不詳	木版墨刷、紙	20.1×29.9	
57	川上澄生	《クリスマスの前夜》	年代不詳	木版多色刷、紙	25.4×13.9	
58	川上澄生	《木皿(ケンタウルス)》	年代不詳	焼絵、彩色、木	直径15.0	
59	川上澄生	『黄道十二宮』	1944(昭和19)年	木版多色刷、銀紙、和装本	11.8×16.6	限定30部、私刊
60	更科源蔵著 川上澄生装幀	『河童道』	1978(昭和53)年	書籍	26.7×18.5	限定200部、三茶書房刊
61	川上澄生	『龍涎嶼』	1943(昭和18)年	肉筆(墨、水彩)、和装本	15.0×20.7	